

おれんじニュース

No335

2018年2月



風頭のハタ揚げ

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
潮騒の旅	4
十二支公園	5
貫山	6
七高山	7
大津山&二城山	8
山小屋忘年会	9
五島珍道中	10
カヌーの話	11
おれんじカレンダー	12

2018年	2月	3月	時間	場所
専門部会	13日(火)	13日(火)	13:30~15:30	西諫早
全体集会	28日(水)	28日(水)	19:00~21:00	公民館

2月



部	自然保護部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部
月/日(曜)	2/4(日)	2/18(日)	2/23(金)	2/25(日)
山名(行事)	普賢岳	火の山連山 (山 口)	竹崎街道 (小長井～県界)	金峰山、二ノ岳、三ノ岳 (熊本、玉名)
地 図	雲 仙	台 道	肥前大浦	熊本、伊倉、植木
集合場所	諫早駅裏 6:50 西諫早駅 7:00	諫早駅裏 6:00 西諫早駅 6:10	西諫早駅 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 2/技術 1	体力 1/技術 2	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1
帰着時間	17:00	19:30	16:00	18:00
歩行時間	5.0h	5.0h	3.0h	4.0h
交通手段	マイカー	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	有り	無し	無し	時間により
参加費	1,000 円	5,000 円	1,000 円	5,000 円
申込期限	1/24	2/11	2/16	2/18
集 約	坂 本	山下ちず子	林 孝子	田 村
備 考	アイゼン要。霧氷があるかも？	見事な岩峰が南北に繋がる火の山連山である。	牡蠣焼きを楽しみましょう)	熊本市の象徴的の山 武蔵や漱石ゆかりの地

3月

部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部	自然保護部
月/日(曜)	3/18 日)	3/23(金)	3/25(日)	3/31(土)
山名(行事)	倉木山	十二支公園 No.2 & 蓮華石岳	鞍岳～ツームシ山	発心山
地 図	別府西部小野屋	諫早・諫早南部	鞍 岳(菊池)	草 野(久留米)
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 9:10 西諫早駅 9:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1	体力 1/技術 1
帰着時間	18:00	15:00	18:00	18:30
歩行時間	4.5h	2.5h	5.0h	3.5h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	無し	無し	無し	無し
温 泉	時間により	無し	時間により	遊心の湯
参加費	5,000 円	500 円	5,000 円	4,000 円
申込期限	3/15	3/16	3/18	3/25
集 約	山下ちず子	林 孝子	田 村	坂 本
備 考	山頂は別府市と湯布院町の境界にある。	十二支公園の No.2 です	頂上からは外輪山の開放的な稜線を野鳥や草花を観察しながら散歩を楽しむ	*久留米と八女にまたがる草野氏の山城址、古民家資料館あり *夏目漱石の足跡など

事務局より

皆さま、明けましておめでとうございます。
今年も無事故で楽しい山行を目指しましょう。

wonderful 2018



九十九島の初日の出

初雪を踏んで

今年初めての水曜登山は雲仙にて雪中登山となった。諫早市内は小雨だったが、山に向かうと徐々に小雨から雪と変わった。雲仙温泉街に入ると約10cmほどの積雪があり、池之原Pに車を止めアイゼン装着後、仁田峠経由紅葉谷往復へ出発。高度を上げるにつれ、積雪量も多くなり、紅葉谷到着時には30cmほどあった。紅葉谷でTさん特製のイチゴ大福をほおぼり、早々に下山した。深々と雪の降る中での山行であったが、素晴らしい雪景色に皆童心にかえり、雪合戦などではしゃいだが、時間と共に変化する冬山の恐ろしさも勉強になった。



野口 健さんの講演会

- ・日付：2月8日(木) ・場所：ホテルニュー長崎 ・時間14:00～15:30
- 入場無料、定員になり次第締め切ります。 連絡先：05-825-8091 長崎法人会

山の歌を歌おう

♪ 「いつかある日」、この歌を知っていますか。優しく美しい曲で、山の歌として多くの自然愛好者に歌われてきました。歌詞も、親や妻子、山の仲間への思いやりが深い、心優しい山男の心根が感じられます。

この曲の原詩は、1951年ヒマラヤのナンダ・デビという山に登山中30歳の若さで消息を絶った、フランスの登山家ロジェ・デュプラと云う人で、残されていた手帳に書かれていた、詩の一つだったそうです。

日本では～日本百名山～の著者で私たち勤労者山岳連盟の顧問であった、深田久弥さんの日本語訳で、作曲は西前四郎さんと云う英語教師の方で、1958年、世に出ました。フランスと日本の山男たちが遺した歌と云う事です。歌詞を少し紹介しましょう。

いつかある日、山で、・・・古い山の友よ伝えてくれ、
母親には安らかだったと、男らしく、・・・父親には、
伝えてくれ、いとしい妻に俺が帰らなくとも生きて行けど、
息子たちに、おれの踏み跡が、故郷の岩山に残っていると、
友に贈る俺のハンマー、ピトンの歌声を聞かせてくれ、



- * この歌は岩や雪山を好む人達には、敬遠されてあまり歌われませんでした。これからは逆に、山で事故に遭わないために歌えばいいですね。 (川原)

潮騒の旅

二日目

小値賀島で迎えた朝。

早速レンタカーにて、信号もない島内を走り巡った。

まだまだ使用出来そうな閉鎖された空港があった。利用者減少によるものだろうか。

午後には、海上タクシーで野崎島を經由して新上五島町の中通島へ移動。40分の船旅で、中通島の津和崎港に上陸。港には予約していたジャンボタクシーが待機、中通島の北の突端から、それぞれに特徴のある教会に立ち寄りながら南下した。実に教会が多い。



野崎島は、今は無人島で残された教会が宿泊施設になっているとか。マリンプルーの海岸で水遊びを楽しんでいる人々がいた。



有川港の近くに、鯨の顎骨を飾った鳥居のある海童神社に寄る。中通島と若松島を結ぶ若松大橋を渡って宿泊先の日島に向う。日島入口には、一面に石塔群が広がっている。

時代も鎌倉から江戸の頃と長期にわたる遺跡だとか。古の方々を思いつつも、波濤が響き海風が吹き抜けていく中、寂寥感はなかった。日島の入江の奥の防波堤の横でテント泊となった。そこは、コンクリートの上で日暮れても日中の余熱が抜けてなくて、背中が熱く寝苦しい夜だった。

(國分記 つづく)



12/15 諫早十二支公園 (子・丑・寅)

参加者 兵庫、山口、下釜、中須賀、中村、川内、福岡、中里、林孝子、金丸

行程 諫早駅前ターミナル 9:00—9:22 御手水 9:27~9:43 寅の公園 9:50~10:15 分岐~10:35 丑の公園 10:45~11:00 分岐~11:15 岩屋口入り口~11:45 川頭(昼食)12:20~12:40 車道出合~13:17 子の公園 13:35~14:05 本野小学校前 14:20 — 14:34 諫早駅前



赤岩名水広場(丑の公園)

登山概要

- ・ 諫早に干支にちなんだ諫早十二支広場というのがあるが、一般には余り知られていないので、勉強のため回ってみることにした。
- ・ 子→丑→寅と干支の順に回りたかったが、帰りのバス時間の都合で寅→丑→子の逆回りとした。
- ・ 子の公園からの下り藪化しているが、他は全コース平坦で緩やかな上り下りで危険なところはない。昔は丑の広場から川頭まで急坂の近道があったが崩落して無くなり、今は大きく迂回している。
- ・ 林さんは下調べ時子の公園には行っているのですが、川頭で昼食後エスケープルートのバスで帰宅する。
- ・ 全長 10 余 km と、ひまわり山行部としては長丁場であり、バス時間を考え前半にペースアップした為後半は余裕を持って完走できた。



丑の公園で一息



観音の滝(寅の公園)



子の公園 展望台

ちょっと感想

- * 「知り合ー」は何と読むでしょう？交流の始まり「子」の公園にありました、「知り合いはじめ」と読むとは、山口さんの弁、ふるさと発見でした。
- * 天候に恵まれ、久しぶりにひまわり山行に参加、黄葉、紅葉も見れて幸せでした。
- * 子の公園三度行き、来るたびに化する、山の色がきれいでした。
- * 「諫早市十二支公園」巡りはすばらしい企画でした。今回は3公園(子、丑、寅)でした。後が楽しみです
- * 4,5 時間、約 2 万歩を歩いた。諫早の山道を十分楽しんだが、腰が痛くなった。罨にかかった2頭の子イノシシを見たが、複雑な気持で早くはなれた。

12/16(土) 貫山(711.7M)



工藤 松岡 国分 高田 鈴木
田村 下釜 中里 中村 山下
大久保 堺 西 乾 高森

平尾台 羊の群



貫山 寒そう

行程

(往) 6:45 大村 BS-9:00 小倉南 IC-9:10 吹上峠登山口-10:00
1 班 大平山(おおへらやま)-11:00 貫山-四方台-11:50 中峠
-12:05 茶ヶ床園地登山口
2 班 9:20 茶ヶ床園地登山口-10:30 四方台-11:10 貫山
-四方台-中峠-12:10 茶ヶ床園地登山口
(復) 合流 12:20 平尾台自然環境センター昼食-13:10 出発
-16:20 西諫早駅-16:30 諫早駅

概要 平尾台到着頃には小雨状態、尾根へ出ると平坦な羊群原を進み大平山に到着、足場のぬかるむ平原を進む、四方台で先着していた2班と合流、貫山をめざす、頂上は雨模様で寒く展望もきかず、早々に茶ヶ床園地登山口に向かった。
天気が良かったら素晴らしい景色を見られたと思うと残念としか言えません。唯一の良い事は明るい内に帰宅できた事です。

ドリーネ



ドリーネとは石灰岩地域に存在するすり鉢状の溶食凹地



貫山を仰ぐ



四方台にて

ちょっと感想

- *「冬枯野カルスト台地に羊群る」レインウェアが連なる草原の眺めは格別でした。
- *「氷雨けむるカルスト台地」ある晴れた日に改めて来てみたい。
- *北海道は大雪なのに、九州に生まれ山歩きが12月に出来るなんてよかったなあ
- *雨の日の歩き方、勉強になりました。

1/6 長崎七高山巡り

行程

J R 諫早駅 7:14-長崎駅 7:49-諏訪神社 8:20
 ~金毘羅神社~金毘羅山 9:40~室生寺~
 長崎仏舎利堂~烽火台 11:30(昼食)12:00
 ~秋葉山 12:30~妙相寺 13:00~水源地~
 岩倉大明神~豊前坊 13:40~彦山 14:10~
 八幡大明神~愛宕山 15:00~風頭山 15:10
 ~坂本竜馬像 15:30 総歩行時間(約7時間)

概要

今年のスタートを切って、絶好の登山日和の中、諏訪神社で平成30年の安全登山を祈願し登山開始。低山とは言え、下りはいずこも滑りそうで慎重になるなど体力、脚力を要した。素晴らしい金比羅山からの展望、日当たりの良い烽火台での昼食。豊前坊下の虚空蔵堂(岩窟)、英彦山の展望岩からの眺め、風頭山からは市街地を包み込むように歩いた山並が見渡せた。健脚揃いにて、予定時間より1時間も早い到着であった。全員完歩!!

ちょっと感想

- ※階段に始まり階段に終わったという印象です。最後まで頑張れました。
- ※七高山巡りは途中で終わっていたので、今回踏破出来、残っていた宿題を済ませた感じです。
- ※四年ぶりのリベンジ成功に気分上々、しかしながら諸先輩の強さには改めて感心しました。
- ※七高山は今年どれくらい登れるかどうかのバロメータでした。今年も頑張れそうです。
- ※風頭山で青空に吸い込まれそうに高く上がったハタを観ました。カッコいい! 3万歩頑張りました。
- ※金毘羅山・妙相寺までは何とかまあまあ、烽火台手前で息切れ、英彦山過ぎで軽膝捻挫・最後の愛宕山の石段で体バテ・痙攣発生。

救護・救助の皆様のお蔭様でヤット下山。寄る年波を痛感!
 今後はジッと我慢の言動・山登りですねー。

- ※風頭山で地元の人が空高く揚げた旗を、しばし引かせてもらったのが、良い思い出になりました。

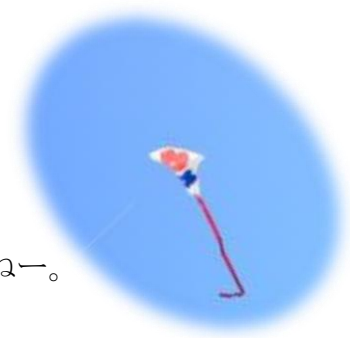


金比羅山

乾、鎗水、工藤、中野、高森、中須賀、松岡、金丸、山下、吉川、大久保(CL)、(一般：松園、山下嬢)13名



烽火台



妙相寺



風頭の竜馬像



ハタ上げに興じる



英彦山登山口

大津山(256m)&二城山(319) 2018.1.14



登山概要

大津山には公園として整備された登山口から登りだす。途中阿蘇神社、明治神宮遥拝所を経る。頂上まで階段が続きかなりの急登であった。山頂は山城の昔を偲ぶものであった。再び大津山公園に戻り、昼食後マイクロバスで萬里の公園に移動し、菅原神社を経て頂上へ向かう。道は枯葉に覆われ歩きやすいがかなりの急登であった。下山は、相谷登山口を経て萬里の神社に戻った。

ちょっと感想

- * 過疎が進んでいるなかにも各神社はきれいに清掃され、登山者を暖かく迎えてくれている印象で、住人の心の豊かさを感じた、
- * 二城山登山口の菅原神社に西郷隆盛の肖像画があったが地域の西南の役歴史を感じた。今年は長崎、熊本への六つの神社を参拝した。山の神様も「オレンジの安全をお忘れないように」
- * 二山とも結構な急登や階段が続き、いつもの「低山なれど」を実感しました。
- * 古城と神社を巡る山旅！どの神社の幟も「合格祈願」となっていたのが現代を想わせた。
「寒風や社に幟子等はなく」

行程 (往路) 諫早駅裏 7:00~西諫早駅 7:10~大津山公園駐車場 9:20~登山口石柱 9:30~明治神宮遥拝所~大津山山頂 10:05~上の駐車場~大津山公園駐車場 11:00(昼食、清掃活動)~萬里の森神社 12:00~馬立菅原神社~二城山 12:55
(復路) 二城山山頂~林道分岐 13:05~三角点~林道分岐~相谷登山口 13:35~萬里の森神社 14:00~うから館 14:15~西諫早駅 17:20~諫早駅 15:30

参加者



林か、中野、田村、山下ち、中里、山口、松岡、工藤福岡、高森、松田、中村、大久保、堺、中須賀、鎗水



ウン10年前憧れていた事をやっと実現！いい年になりそうだ！



立派な三角点



なんだ坂、こんな坂



二城山からの風景

29, 12, 13 山小屋



参加者：川原、福岡、鎗水、岩田、大久保、乾、松岡、金丸、
小熊、工藤、下釜、田村、国分、中野、吉川

行程：大村野岳湖に 9:00 集合～郡岳南登山口 9:30～11:00 郡岳頂上～11:30 西峰頂上
昼食 12:10～南登山口へ向けて山すその新ルートを行く～14:15 南登山口到着～
野岳湖のキャンプ場へ～バンガローにて夕食、宴会準備～15:00 忘年会開始～
22:00 就寝～14 日 7:30 朝食後解散。

概要：忘年会は、今年の 8 月某日のお泊り焼肉会が発端である。コンパニオンレスキューの後のビールと焼肉会は最高に盛り上がったので味を占めて決定した。
2 週間ほど前から施設の賃借、参加者の募集(チョット強引な指名もあり・・・)
炊事班、食材・酒類の準備など見事なチームワーク・・・山行もこうあってほしい。

当日はまず、郡岳へ約 1 時間半で登頂、そのうち 2 名はそのまま下山。

頂上の手前では霜柱が残っており、足を進めるときにはサクサクと快い音を奏
でていたが、樹林帯をぬけて頂上に立つと風は冷たいが快晴で空気も澄み渡り、周
囲の山々がよく見渡せた。そこからは 15 時までの時間を稼ぐため、最近お得意
の新ルート確認に出ることにした。まずは郡岳西峰へここはわかりやすく、比較
的容易な歩行であったが、さて下山ルートをどうするか、話し合いの結果地図と磁
石と感を頼りに郡岳すそを巻く未知のルートに挑戦、谷あり、樹海あり、倒木をこ
えて何とか南登山口からの登山道に合流、皆一安心。この間約 2 時間を要した。

野岳湖畔のバンガローで「おでん」を囲んでの忘年会 PART2 というナイスタイミ
ングな企画に飛び込んで、田村さんが、前回よりじっくり煮込んだ「おでん」たっぷ
り入った鍋二つを、振動でこぼれないように両手で押さえながら無事、野岳に着
き、日も落ちぬ前からの御開帳となりました。熱く、おいしい至福の時を夜も更け
るまで、過ごすことが出来ました。



いい夢を

一言感想

- * 寒さで一睡もできず、お陰で、何を食べて何を話題にしたか記憶なし。しかし、寒さをしのぐ十分な装備や、緊急処置を学んだ **ブルブル**・・・
- * 山行の後のビールと料理は最高だったが、アルコールと部屋の暖気無くなると急に冷え、睡眠は出来なかった。

五島珍道中(赤島・黄島・黒島)



高浜ビーチ



おせんヶ池



セツ岳

今回は五島の福江島より渡海船で行く離島の離島の孤島に行った。

11/8：長崎港—福江港—赤島港—借宿(あかしまの家)

赤島は人口 17 人の過疎の島。今村さんご夫妻(富士登山の人)のご好意で晩御飯は伊勢海老、アサリに皆大喜び。橋口さん、今村さんご夫妻と一緒に話が弾んだ一夜だった。

参加者：

川原、岩田、国分、
田村、下釜、田中
(橋口、今村夫妻)

11/9：赤島港—黄島港—民宿(黄島)

黄島は人口 42 人。民宿は延命院という空海ゆかりの由緒ある寺院で朝からおつとめがあった。細ヶ岳(25m長崎県一低山)番岳(92m)登山。細ヶ岳登頂証明書をおうしま山岳会よりもらう。夜は長崎より釣りに来ていた人も加わり酒席。



11/10：黄島港—黒島港(テント泊)

黄島溶岩洞窟をヘッドランプを頼りに見学。黒島は 98 歳と 67 歳の親子 2 人の過疎の島。猫が 20 匹、まるで猫島。テント周りに猫、ねこ、ネコに悲鳴をあげてしまった。

11/11：黒島港--黄島港--福江港--セツ岳(431m九州百名山)--鬼岳(317m)--空海記念碑--旅館
天気良く山も海も気持ち良かった。旅館では夜バーベキューで 11 月生まれを祝った(笑)

11/12：福江港—長崎港



カヌーの話



「四万十川でカヌーをしませんか」この小さな記事を見つけたのは50歳の初夏だった。9月、いざ四万十へ。台風で増水した川を必死に漕いだ。2年目も大增水。川に出ることすらできなかった。やっと清流四万十に会えたのは3年目だった。

1年目に会った埼玉のYさんと通い続けて今年で20年。この川旅ではカヌーに荷物を積んで川を下り、河原でテントを張る。

石を連ねて作ったいろりを囲み、たき火を見ながら語り合い、夜空と川の美しい組み合わせに感動したり、たまには、テントが浸水するほどの雨に降られたりしながら、その全てを良しとしてカヌーを楽しむ。腕時計、携帯はオフ。競技カヌーとは対極にある。とはいえ正しくない流れに入りこむと水の中に放り出される。

日常とは違った時間の流れ、空間に出会える有難い存在である。

そして、考える。この有難いものと私を出会わせたものは何だろう？と。

迷いなく本明川という答えが出てくるのだ。幼いころ、母たちが洗濯をするそばで遊んだ川のきらめき。今もその記憶が輝いているらしい。三つ子の魂に感謝だ。

今年もその三つ子の魂を持って川でカヌーを漕ぐ。

(山下文代 記)



おれんじカレンダー

2月			3月		
1	木		1	木	
2	金		2	金	
3	土		3	土	
4	日	普賢岳 (自然保護部)	4	日	
5	月		5	月	
6	火		6	火	
7	水	水曜登山(8:00 西駅)	7	水	水曜登山(8:00 西駅)
8	木		8	木	
9	金		9	金	
10	土	大山雪山訓練(県連登山学校)	10	土	
11	日		11	日	
12	月		12	月	
13	火		専門部会(13:30~15:30)	13	火
14	水	水曜登山(8:00 西駅)	14	水	水曜登山(8:00 西駅)
15	木		15	木	
16	金		16	金	
17	土		17	土	
18	日	火の山連山(山口) (技術研修部)	18	日	倉木山(湯布院) (技術研修部)
19	月		19	月	
20	火		20	火	
21	水	水曜登山(8:00 西駅)	21	水	水曜登山(8:00 西駅)
22	木		22	木	
23	金	竹崎街道(小長井~県界) (ひまわり部)	23	金	十二支公園 No.2 & 蓮華石岳 (ひまわり部)
24	土	コンパニオンレスキュー (9:30 西駅)	24	土	コンパニオンレスキュー (9:30 西駅)
25	日	金峰山、二ノ岳、三ノ岳 (山行部)	25	日	鞍岳~ツームシ山 (山行部)
26	月		26	月	
27	火		27	火	
28	水	水曜登山、全体集会(19:00~21:00)	28	水	水曜登山、全体集会 (19:00~21:00)
			29	木	
			30	金	
			31	土	発心山(草野・久留米) (自然保護部)

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者 (兼編集委員)	福岡 正廣
編集委員	鎗水律夫、中野美津子、林孝子、林和子、 田中静香、高森陽子、工藤学、松岡正樹
発行年月日	2018/1/24
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com

<p>安心! 5年間保証 ・施工後も年に1回の無料点検 ・最大5000万円の損害賠償保証付</p>	<p>床下点検・見積無料 キャンセルされても 料金が発生すること は一切ございません。</p>	<p>シロアリ予防, 駆除・パソコン販売, 修理 合同会社 まずは、お気軽にお問い合わせください。 三喜企画 0957-47-5988</p>
--	--	--